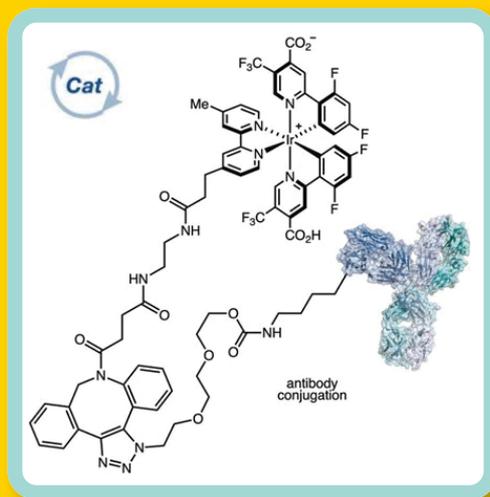


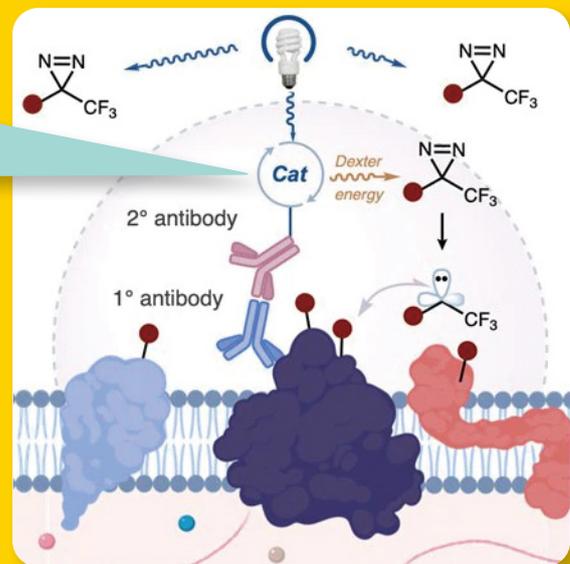
μMAP技術：近接依存性標識の新手法

タンパク質など生体分子間の相互作用を探る

生体分子同士がどのように相互作用しているかを理解することは、基礎生物学への新しい知見、新しい治療法の発見や医薬品開発へつながることが期待されます。プリンストン大学の MacMillan 教授（2021 年ノーベル化学賞受賞）らにより新たに開発された μMap 技術は、このような相互作用を、SPPLAT、BioID などの従来法より高い精度で明らかにする近接依存性標識法です*。



AtlasKit で準備される抗体コンジュゲートイリジウム触媒（上図）、
光照射によりターゲットタンパク質の微小環境を高精度でマッピング（右図）



* Jacob B. Geri, et al., SCIENCE, 2020, Vol.367, Issue 6482, pp.1091-1097

NEW AtlasKitで精度の高い近接依存性標識を!

シグマ アルドリッチでは μMap 技術を皆様の実験系でお使いいただけるよう、ready-to-use なキットとして製品化したしました。Step-by-step のプロトコルに従って、精度の高い近接依存性標識の新手法をお試しください。

製品名	容量	カタログ番号
AtlasKit (10 reactions)	1KIT	ATLASKIT-A
AtlasKit (20 reactions)	1KIT	ATLASKIT-B

Step-by-stepの
プロトコルはこちら



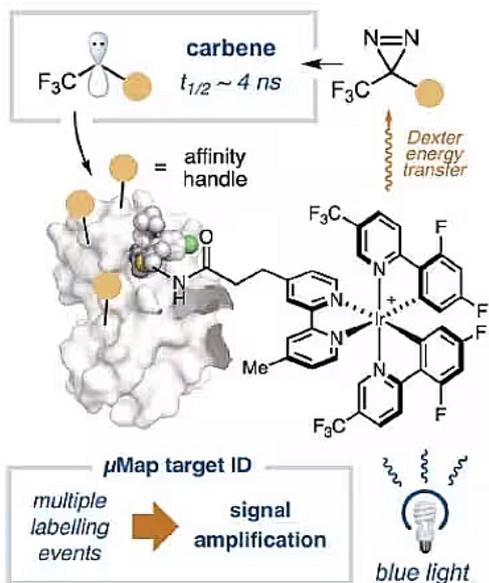
AtlasKitの
詳細はこちら



HyasKit / DioneKit

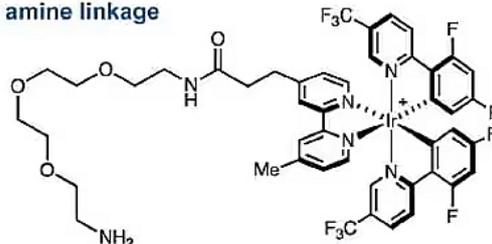
小分子ターゲット同定に有効な近接依存性標識技術

a. Photocatalytic target ID enabled by μ Mapping

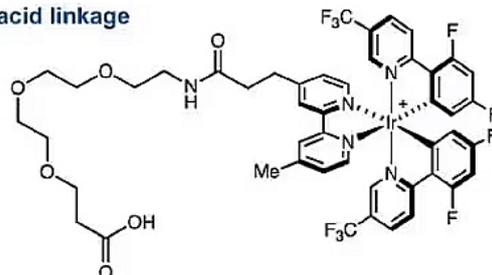


b. Hyas and Dione μ Map catalysts

Dione - amine linkage



Hyas - acid linkage



HyasKit はアミン系の小分子に、DioneKit は酸系の小分子にそれぞれ接続可能な構造となっており、生理活性小分子が健康な組織や病気の組織とどのように相互作用するかをクリアにすることができます。

製品名	容量	カタログ番号
HyasKit (10 reactions)	1KIT	HYASKIT-A
DioneKit (10 reactions)	1KIT	DIONEKIT-A

HyasKit/DioneKitの
詳細はこちら



本紙記載の製品は試験・研究用です。ヒト、動物への治療、もしくはは診断目的として使用しないようご注意ください。掲載価格は希望販売価格(税別)です。実際の価格は弊社製品取扱販売店へご確認ください。なお、品目、製品情報、価格等は予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。記載内容は2023年11月時点の情報です。Merck, the vibrant M, and Sigma-Aldrich are trademarks of Merck KGaA, Darmstadt, Germany or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners. Detailed information on trademarks is available via publicly accessible resources. ©2023 Merck KGaA, Darmstadt, Germany. All rights reserved.

シグマ アルドリッチ ジャパン

ライフサイエンス サイエンス & ラボソリューションズ事業本部

〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F

製品の最新情報は [こちら](http://www.sigmaaldrich.com/JP/ja) www.sigmaaldrich.com/JP/ja

製品に関するお問い合わせは、テクニカルサービスへ

E-mail: jpts@merckgroup.com Tel: 03-6756-8245

在庫照会・ご注文に関するお問い合わせは、カスタマーサービスへ

E-mail: sialjpcs@merckgroup.com Tel: 03-6756-8275

シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社はメルクのグループ会社です。